

中村ロータリークラブ

例会記録 (2012~2013)

会 長/明 神 三 幸
幹 事/梅 原 薫
会報委員長/荒 川 泰 士

創 立/昭和38年10月2日
例会日/水曜日 12:30~13:30
例会場/新ロイヤルホテル 四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>



週報 No.2292

第2423回 平成25年1月23日 (晴れ)

本日のプログラム：会員スピーチ 長瀧 正隆会員

1月30日のプログラム：ゲストスピーチ 山下慎吾様 シメントモリモリ団長

2月6日のプログラム：会員スピーチ

【会長挨拶】 明神会長

- ・マルチプル・ポールハリスフェロー受賞の報告です。山沖啓会員と山本徹会員が受賞されました。おめでとうございます。
- ・2月9日の高知分区LMですが、現在10名の出席となっておりますが、今期、当クラブよりガバナー補佐を輩出しております関係上、あと何人か出席をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
- ・一昨年の3月11日に起こった東日本大震災で被害にあったロータリークラブは7クラブあります。仙台空港にモニュメント建設の支援要請があり、当クラブも支援(2万円)することになりました。バナーが飾られるそうです。

- ・ガバナーエレクト事務局より
次年度のテーマ 決定のお知らせ
「ロータリーを实践し みんな豊かな人生を」
- ・高知中央RCより
一藤、福永会員スピーチ掲載の週報拝受
- ・日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会実行委員会より沖縄大会のご案内
3/19 琉球ゴルフクラブ
- ・四万十川自然再生協議会より総会のご案内
2/16 (日) 14:00~四万十市防災センター

【幹事報告】 稲田副幹事

- ・ガバナー事務所より
 - 1) 地区大会信任状提出のお願い
会員数46名に対して2名の選挙人の選定
 - 2) ロータリアン配偶者パートナー奉仕功労者推薦のお願い
ロータリーを通じて模範的な人道的奉仕を行ったロータリアンの配偶者で自身はロータリアンでないことが資格条件

【委員会・会員発言】 佐田親睦委員長

- ・新年会の景品で、8番が残っていました。誰か心当たりの方がいましたら事務局までお申し出ください。



おめでとうございます

マルチプル・ポールハリスフェロー受賞の
山本徹会員



【本日のプログラム】 会員スピーチ 長瀧 正隆会員「電力事情について」



検討開始はお客様に多大なご心配をおかけすることになり、誠に心苦しい限りですが、何卒、当社の置かれた状況についてご理解を賜りますようお願い申し上げます。

当社といたしましては、引き続き、伊方発電所の1日も早い運転再開と電力の安定供給確保に向け全力を尽くすとともに、更なる合理化、効率化の推進に全社を挙げて取り組んで参る所存であります。

電気料金値上げ検討開始について

当社の収支は、伊方発電所の再稼働遅れにより昨年度に続き、今中間期も赤字になるなど、かつてなく厳しい状況となっております。一方原子力の再稼働を巡っては、9月に原子力規制委員会が発足したものの、新たな安全基準の内容や審査スケジュール等が依然として不透明であり、現時点で伊方発電所の早期の運転開始は見込み難い状況です。

こうした中、当社では、経営全般にわたる効率化に努めており、今年度については、費用、投資合計で約250億円を目標として、コスト削減に取り組んでおります。

また、10月1日付で「経営効率化特別委員会」を設置し、全社を挙げて一層の効率化に取り組んでいるところではありますが、伊方発電所停止に伴う需要関連費の増加は、1日当たり4～5億円、通年では1,000億円以上になることが見込まれており、効率化の取り組みだけで、収支の改善を図ることは極めて困難な状況にあります。仮に、このまま伊方発電所が再稼働できない状況が継続しますと、財務基盤が著しく悪化するとともに、電力の安定供給に支障をきたすことも懸念されます。

このため、収支、財務体質の改善に向け、あらゆる選択肢を検討する中で、この度、電気料金の値上げについても具体的検討を開始せざるを得ないと判断しました。今後、値上げする場合の時期、増幅について、具体的な検討に入りますが、もとより原価算定にあたっては、今一度、社内の計画を総点検し、最大限の効率化施策を織り込む所存であります。

現下の厳しい経済情勢にあって、料金値上げの

伊方発電所の安全確保に向けた取り組み

当社では、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、震災直後から、国の指示に基づく「緊急安全対策」や「シビアアクシデント対策」はもとより、外部電源の多様化等、当社独自の対策にも積極的に取り組むなど、伊方発電所の安全性、信頼性の向上に努めてまいりました。

また、これらの安全対策により、全交流電源が喪失した場合においても、低温停止状態まで冷却することが可能となっており、仮に福島と同じように想定を超える地震や津波が来襲したとしても、深刻な事態に至ることはないことや、伊方発電所の安全裕度が更に向上していることを確認しております。

当社では、「原子力の安全性向上への取り組みに終わりはない」との認識のもと、これにとどまることなく、更なる安全性、信頼性の向上に向け、不断に取り組むこととしており、その一環として、非常用発電機の増設やフィルタ付ベント設備などの追加安全対策を進めているところです。

当社としては、地域の皆様にも少しでもご安心いただけるよう、こうした安全対策を着実に、かつ可能な限り前倒しして実施していくことはもちろんのこと、引き続き、情報収集に努め、新たな知見が得られた場合は、迅速かつ的確に対策を講じ、伊方発電所の安全と安心の確保に万全を期して参ります。

以上、皆様方のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

【二コニコ箱】

大杉(幸)会員：大塚エレクトの心づかいに感謝して、、、。

越智会員：入会早々に早退してすいません。今後ともよろしくお願ひします。

【出席報告】

- ・会員総数47名（免除会員1名）
- ・本日の出席/29名 64.44% 先々週の訂正 M7 64.44%→80.00%